

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 年 月 日

事業所名 放課後等デイサービス事業所 じゃんぷ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			指導訓練室が42.6㎡の他、ワークルーム等のスペースがある。	
	2	職員の配置数は適切である		○		サービス提供時間を通じて、2名以上の職員を配置している。	法的な基準上は満たしているものの、職員の突発的な休み等においては基準を満たさない可能性があり、適切な職員の配置を検討して体制を整えていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			平成29年10月にバリアフリー化された新築の建物へ移転した。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			ミーティングや振り返り等の時間にて職員全員で実施している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		保護者等向け評価表を活用し、年間で計画的にサービスの提供を行っている。	茶話会や勉強会などの保護者交流の機会を計画していたが実施できなかった。計画が実行できるよう内容を検討し、確実に実施していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			法人のホームページにおいて公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		実施できていない。事業所内で検討するとともに、佐賀中部地区放課後等デイサービス連絡会においても情報共有や検討を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修計画を作成し、計画的に職員の資質向上を行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別の面談での聞き取りやアセスメントシートに基づいて分析を行い、客観的に判断し作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○	医療機関や専門機関などの情報を保護者様を通じていただいている。	全ての児童の情報が整っているわけではない。引き続き、保護者様や関係機関等と連携し、適宜、アセスメント等の情報を整備していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員全員でミーティング等にて意見交換を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			個々の発達段階に応じて検討し実施している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日・休日・長期休暇、その時々の課題を設定し個別に対応している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している			○	子どもの特性に応じて個別活動を中心に計画を立て、状況に応じて複数の活動を組み合わせて実施している。	集団活動について計画には記載していない。個別の状況を保護者様と確認しながら必要に応じて実施していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		シートやボードなど可視化された情報を基に支援内容や役割分担を確認している。	支援開始前に必要に応じて打合せを実施している。引き続き、打合せの時間を設けていく。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援記録を基に振り返りを実施し、次回以降の設定を確認し共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			振り返り用の支援記録を用いて記録を行い、検証・改善を行っている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			日々のモニタリングの他に個別の支援検討会議を開催し計画の見直しを実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○			子どもの発達段階や保護者様のニーズに応じて基本活動の内容を実施している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が参加しており、必要に応じて担当者も参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			基本的には保護者様より情報を頂いており、事業所としても学校へ直接確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○		※該当する子どもがない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			利用前には必ず保護者様や関係機関等との情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			学校が企画する移行支援会議へ出席し、情報シートを基に説明している。移行後に相談対応できるよう案内もしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			専門機関からの研修を計画し実施している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		子どもの特性を踏まえ保護者様との確認の上で実施していない。状況を踏まえながら必要に応じて実施していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			佐賀中部地区放課後等デイサービス連絡会に加盟し情報共有や発信を行っている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳・送迎時・定期や不定期の面談にて情報共有を行っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			面談を設定し困りごと等を確認し関わり方や環境設定の助言やツールの使用方法の説明など個人に合わせた支援を行っている。		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用前面談時や契約時などに説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談できる時間を設定しており、状況や状態に応じた助言や指導を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	茶話会や勉強会を実施し、保護者様同士の連携支援も行っている。	茶話会・勉強会の計画をしていたが今年度初めて実施できなかった。確実に実施できるよう検討し実施している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情解決の体制があり契約時に周知している。苦情があった際は記録を残し改善策も検討する。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			法人の会報を毎月発行している。事業単位でも案内を配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	○			ファイリングや保管場所を決め、チェックを定期的に実施している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			情報伝達の際には視覚的なツールを用いてわかりやすいように伝達している。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			法人全体で企画し、地域の方や利用関係者が参加できるイベントを開催している。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			契約時に説明しており、送迎時に集う玄関にも情報を設置している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			自衛消防訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止体制を整備しており、毎年、虐待防止研修を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			契約時や面談時に説明しており、書式の準備もできてる。	※対象者がいないため計画への記載はない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			医師の指示書については保護者様を通じていただき対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット記録を整備し、ミーティング等で共有している。	